

会 議 議 事 録

1 会議名	第35回長岡市馬高・三十稲場遺跡整備活用委員会
2 開催日時	令和7年2月12日(水曜日)から 令和7年2月28日(金曜日)まで
3 開催場所	書面表決 (インフルエンザウイルスの感染拡大防止の観点から、委員からの意見聴取による書面審議とした)
4 出席者名	委員：小林委員(委員長)・安藤委員・小野委員・飯吉委員・ 鷺津委員・星野委員・渡辺委員 事務局：金垣科学博物館長、神保館長補佐、小熊総括副主幹、 小林主査
5 欠席者名	なし
6 議題	○史跡馬高・三十稲場遺跡の保存及び整備並びにその活用について 議題(1) 令和6年度事業の実施状況について 議題(2) 令和7年度の事業計画について
7 審議結果の概要	○史跡馬高・三十稲場遺跡の保存及び整備並びにその活用について ・議題(1)について、事務局から書面で報告した。委員から寄せられた意見・質問には、回答を作成して委員に送付することとする。 ・議題(2)について、事務局から書面で説明した。委員から寄せられた意見・質問には、回答を作成して委員に送付することとする。
8 審議の内容	別紙「書面表決の集約結果」及び「令和6年度馬高・三十稲場遺跡活用委員会書面表決結果」のとおり
9 会議資料	別添のとおり

書面表決の集約結果

1 令和6年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の実施状況の報告について

・承認 7 / 7

2 令和6年度の実施状況報告について

委員	<p>・多くの事業実施、毎年ありがとうございます。積雪の被害などはありませんでしょうか。スタッフの皆様のご活躍に感謝です。</p>
委員	<p>・特別展を知る契機は、ポスター、チラシが 47.6%となっており、インターネットの 3.3 倍である点はやや驚きである。やはり紙ベースによる PR がなお有効であることを再認識させられる。</p>
委員	<p>・厳しい状況の中にあっても可能な限り利用団体を受け入れていただきありがとうございます。今後とも事業が充実発展していくよう進めていただけるとありがたいです。</p>
委員	<p>・令和 6 年度のイベント案内のリーフレットがとてもインパクトがあっ て見やすかったような気がします。子どもたちにも分かりやすく、参 加してみたくなるようなリーフレットだと感じました。 ・年々 利用学校団体の参加人数が増えているのは とても好ましいと思 いました。 ・今年は総合支援学校が一度も来ていなかったようですが、この辺は ど のような、工夫をされているのでしょうか？ 特別支援学校の 児童 生徒たちにも体験できる 講座、例えば 粘土で簡 単な土器を作るなど、指導の方々も大変でしょうが、ぜひやることがで きたらいいな、と思いました。</p>
委員	<p>・出前出張の成果維持、今後も宜しくお願いします。 ・「文京区小学校魚沼移動教室プログラム」一環で馬高縄文館利用事例が 今後も生まれること、また主体的に生み出すプロジェクトを期待したい。</p>

3 令和7年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の事業計画について

・承認 7 / 7

4 令和7年度の事業計画について

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特にございません。よろしくお願いいたします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大英博物館などとの交流について、「継続」や「連携」の内容を明示しておくことが、次年度への評価の具体的励ましや反省すべき点の検討に資すると思われます。 ・HPの充実について ・特定テーマの研究動向／話題／国際比較などをもっと出すべき ・見て関心の所在が分かるようにする必要がある。 ・もう少し関与している人間（研究者として職員の広義の活動も）が分かるようにできないであろうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な事業が多々計画されており、興味深く感じております。ぜひ推進をお願いします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き継続事業を実施することによって馬高・三十稲場遺跡が1人でも多くの人に見たり、体験したりしてもらえることを希望しております。よろしくお願いいたします。 ・縄文関係図書等整理も、継続事業で現在所蔵資料が運搬されきちっと整理されているようですが、今後、あの所蔵施設をどのように活用していくか、というお考えがありましたら伺いたいなと思いました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・6年度に引き続き「市内行事(長岡まつり)への参加」も希望。長岡まつり訪問者を縄文館へ誘導する仕掛け、PR強化に期待

5 その他

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのどこかに、出版物（書籍、雑誌、映像など）で馬高縄文館に関心のある訪問者へ、おすすめの情報とか、外国人の見る縄文のイメージとか、いままでセインズベリー日本藝術文化研究所、大英博物館などとの交流から得た興味ある比較のアイデアなどを大胆にホームページ上に掲載したらどうであろうか。 ・特定テーマの研究動向、興味深い情報などを集めてホームページを充実させる（面白い／ためになる）必要がある。ホームページは全世界で見る機会があります。言語の問題はまた別途考える必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はたまたまほぼ毎日孫を連れて夏休みワークショップに参加させていただきました。 ・事前の準備、当日の子どもたちに対する対応など、皆さんがとても丁寧にしてくださっているのに感動しました。 ・少しでも多くの子どもたちがこのような体験を通して、馬高縄文館や遺跡に興味を持ってもらえたら嬉しいと感じました。

	<p>・馬高縄文館ではありませんが、今回科学博物館での小林達雄コレクション展は非常に見応えがあり、何度も足を運ばせていただきました。令和6年度もいろいろお世話になりました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>・連休が入ったせいか「書面評決書」が提出締め切りの前日、2/25夕方に届きました。もう少し、余裕をもって郵送をお願いできればと思います。</p>

令和6年度 馬高・三十稲場遺跡活用委員会書面表決結果

1 令和6年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の実施状況の報告について

・承認 7/7

2 令和6年度の実施状況報告について

項目	意見趣旨	回答要旨
特別展の告知について	・特別展を知る契機は、紙媒体がインターネットよりも3.3倍多かった。	・アンケートが特別展期間中であつたため、来館者の情報収集に偏りがあつたのかもしれませんが。インターネットも重要な情報発信ツールであることも踏まえ、多様な方法での情報発信を行っていきたいと思います。
支援学校への授業について	・学校利用は増えているが、令和5年にあつた総合支援学校の来館がなかつた。支援学校生とでも体験できるが体験学習のプログラムを考えてほしい。	・馬高縄文館では学校向けに体験学習プログラムなどを紹介していますが、総合支援学校向けのプログラムは用意していません。支援学校生徒がどのようなプログラムを体験可能かなどを含め、学習内容を考えていきたいと思います。
県外学校の利用など	・魚沼市による文京区小学校の移動教室プログラムの発展と、主体的なプロジェクトの創出を希望する。	・魚沼市で行っている文京区の小学校移動教室との連携で、馬高縄文館への来館と体験学習が行われています。当館単体での県外学校の誘致は難しいですが、長岡市観光協会において県外からの移動教室誘致が行われていますので、これらと協力して広範な地域からの来館があるようなプログラムを考えていきます。

3 令和7年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の事業計画について

・承認 7/7

4 令和7年度の事業計画について

項目	意見趣旨	回答要旨
評価について	・セインズベリー日本藝術文化研究所などとの連携について、「継続」や「連携」の内容を明示したほうが、評価や反省点が分かり、次年度につながる。	・イギリスの各施設との交流は展示をはじめとして、毎年行っています。指摘されました通り、今後も発展を考え目標や評価方法を考え実施したいと思います。
縄文関係図書について	・縄文関係図書の収蔵施設についてと、今後の活用方法について聞きたい。	・現在、寄贈いただきました資料について科学博物館の収蔵庫として使用しています旧小学校に保管し、整理作業を行っています。具体的な方法などは決まっていますが、研究者をはじめ興味を持つ人が利用できるような環境を構築していく予定です。

5 その他

項目	意見趣旨	回答要旨
ホームページについて	・ホームページに特定テーマの研究動向や話題など興味深い情報を充実させる必要がある。 ・大英博物館などの交流から得た興味深い比較など、海外への発信を意識したづくりが必要	・ホームページについては、英語・中国語などの簡易な解説などの公開が始まっています。今後、インバウンドを含めた外国人からの来訪に備え、発信ツールと来館時の対応方法について整備するよう考えます。
「考古学者小林達雄コレクション展」について	・科学博物館で開催された「考古学者小林達雄コレクション展」は非常に見応えがあり、何度も足を運ばせてもらった。	・コレクション展は約 6,000 人の来場がありました。また、来場者アンケートからも好評でありこれらの声援を力に縄文関係図書の整理を進めていきます。

資料の送付 時期について	・委員会の書類が締切近くに届いたの で、もっと早く送付してほしい。	・解答まで期間がなく申し訳あ りませんでした。今後は十分な 時間を設けるようにします。
-----------------	--------------------------------------	---